



住吉教会 2012 年度テーマ  
「殉教者の霊性を生きる」  
—信仰刷新の年—

## 寂しいヨセフ

赤波江 豊 神父

教会の暦によりますと 3 月 19 日は聖ヨセフの祭日です。このほか 5 月 1 日に勤労者ヨセフの記念日があります。年間を通してヨセフの祝日はこれだけです。ヨセフは、いうまでもなくマリアの夫、キリストの養父です。これに対してマリアの祭日は 1 月 1 日神の母聖マリア、3 月 25 日神のお告げ、8 月 15 日聖母被昇天、12 月 8 日無原罪の聖マリア。このほか祝日、記念日は 2 月 11 日ルルドの聖母、5 月 13 日ファティマの聖母、5 月 31 日聖母の訪問、6 月 4 日聖母のみ心、7 月 16 日カルメル山の聖母、8 月 22 日天の元后聖マリア、9 月 8 日聖マリアの誕生、9 月 15 日悲しみの聖母、10 月 7 日ロザリオの聖母、11 月 21 日聖マリアの奉獻など、ほとんど毎月祭日か祝日、記念日があります。

福音書を見ますとマリアはいくつか語っています。大天使ガブリエルのお告げに対して「私は主のはしためです。お言葉通りこの身になりますように」(ルカ 1・38)、エリザベト訪問の時のマリアの賛歌「私の魂は主をあがめ・・・」(同 1・47)、少年イエスが神殿で迷子になった時「なぜこんなことをしてくれたのです。ごらんなさい。お父さんも私も心配して捜していたのです」(同 2・48)、カナの婚礼で召し使いたちにイエスを指さして「この人がなにかいいつけたら、その通りにしてください」(ヨハネ 2・5) ところが、ヨセフにいたっては福音書のどこを捜してもヨセフが語った箇所を見つけることができません。実に何も一言もしゃべっていないのです。

ヨセフが、いつ死んだかは福音書には記されていません。しかし、イエスが 30 才くらいで宣教活動に出た時にはおそらくこの世にはいなかったであろうと推測されます。ヨセフが死んでヨセフを養う義務から解放されたイエスは宣教活動に出たとも推測されます。従ってヨセフはイエスの奇跡、不思議な業を一度も見えていません。これに対してマリアは最初の奇跡カナの婚礼からイエスの十字架上の死、聖霊降臨に立ち会っていますからイエスの多くの奇跡にふれたことは容易に推察されます。そしてもっと寂しいことにヨセフはイエスからお父さんと呼んでももらえない・・・。厳密な意味でイエスの父は天の御父ただ一人だけですから。

祝われることが少なく、何もしゃべらず、奇跡も見ずに死んで、お父さんとよんでももらえなかったどこまでも寂しいヨセフ・・・。

でも彼の偉大さに目をとめましょう。前述のようにヨセフは福音書の中で何もしゃべりません。ただ彼は「正しい人」(マタイ 1・19)であって「主の天使が命じたとおり」(同 1・24)にしたのです。この主から命じられたとおりにしたという信仰による従順が彼の生涯の出発点でした。このヨセフの信仰がマリアの信仰に出会い、そしてマリアの信仰を支え続けたのです。マリアが信仰によって救い主の母となったように、ヨセフもまた信仰によって救い主の養父となりました。旧約のはじめにひとつのカップル(アダムとエバ)があったように、神は新約のはじめにもひとつのカップルをそなえました。教会がマリアの処女性を宣言するのは

大切なことですが、ヨセフとの結婚を強調することも同様に大切なことなのです。新約という救いの夜明けはこの結婚を通して始まり、ヨセフはその保護者に選ばれたからです。彼の最大の努めは幼子イエスを生命の危機から守ったことです。かつてイスラエルの民が、エジプトの奴隷状態から逃れるために通った同じ道を通してマリアとイエスを守りながらエジプトへ逃れました。

マリアの子イエスは、同時にヨセフの子でもあります。肉によるつながりはなくても彼は子に父としての権威を示す必要がありました。それは主の天使が命じた通り「その子をイエスと名付けた」(同 1・25)ことによって実現されました。ヨハネ福音書もイエスを「ナザレの人、ヨセフの子イエス」と明記しています。(ヨハネ 1・45)このイエスがその後「両親に仕えてお暮らしになった。」(ルカ 2・51)ことは、イエスがヨセフの大工としての仕事を手伝ったことを意味します。それは「仕えられるためではなく、仕えるために来た」(マルコ 10・45)救い主が最初にそのことをあかしする場となりました。このナザレの沈黙に包まれたヨセフの姿の中に深い霊的生活の原点を見出すことができるでしょう。沈黙のうちにもヨセフとイエスは同じ家に住み、毎日交わっていました。これが私たちの霊的生活の原点であり頂点です。

これほど偉大な人なのに何もしゃべらず静かに去ったヨセフ。寂しいヨセフ。でもやっぱり男はあんまりしゃべらないのがいい……。

#### 感謝献金について

私たちは誕生から始まって受洗、七五三、入園、入学、初聖体、堅信、入試、成人式、就職、結婚など人生の節目で神様からたくさんのお恵みをいただいています。このお恵みに対する感謝の気持ちを献金という形で神様に表すこともできます。あらゆる場で神に感謝をささげましょう。(赤波江神父)

## お知らせ

### 社会活動チーム、財務チームからのお知らせとお願い

2月22日の灰の水曜日から四旬節に入りました。この期間、回心を願い愛のわざに励む具体的な印として、日本の教会は毎年、「四旬節愛の献金」に取り組んでいます。受付で配っています緑色の献金袋で献金にご協力下さいますようお願い致します。ミサの中でまわって来る献金籠に入れていただければよろしいかと思ひます。

なお、この献金は大阪教区経由でカリタスジャパンに送金され、国内、海外の援助活動事業に使われます。また、カリタスジャパンは毎年この時期に小冊子を配布しています。今年の『つなぐ』は昨年の東日本大震災での体験を中心に編集されています。被災地の方々へ思いをはせながら、回心への招きのひとつとしてご利用ください。

### 評議会議長交替のお知らせ

2月12日(日)の住吉小教区評議会で谷口 健太議長が一身上の都合で辞意を表明され、辞任(評議会議長退任)が承認されました。

後任には、滝川 晃副議長に議長就任をお願いし、受託されましたので、滝川副議長の議長就任を評議会として決議、承認し、担当司祭から承認されました。

同2月12日(日)付で滝川 晃氏が議長に就任されました。皆様にお知らせします。

なお、任期は本役員の任期である2013年3月末迄の1年1ヶ月です。

新旧議長交替の正式な挨拶は4月の小教区総会で行います。

評議会運営に引き続き皆様のご協力をお願いします。

# 2012年 2月度 カトリック住吉教会評議会議事録

日 時: 2012年2月12日(日) 11:00 ~ 13:00

場 所: 第2会議室

出席者: 赤波江神父・他評議会メンバー16名

## はじめの祈り: Ng

全てを創り治められる神よ、慈しみ深いみ手の中では始めるこの集会を祝福し、み旨を行うことが出来ますように、私たち一人一人に知恵と勇気を授け導いてください。私たちの主イエス・キリストによって、アーメン。

## 日程の確認

- 2月18日(土) 諏訪司教を囲む祈りの集いと懇親会、
- 2月19日(日) 諏訪司教司式ミサと激励会 11:15 ~ 神戸中央教会(東ブロック三教会合同行事)
- 2月22日(水) 灰の水曜日 19:00~ ミサ
- 2月26日(日) ホームページ委員会
- 3月3日(土) 炊き出し
- 3月4日(日) 神戸地区宣教司牧評議会 14:00~鈴蘭台教会
- 3月11日(日) 市民救命士講習会 ミサ後
- 3月18日(日) 住吉小教区評議会

## 市民救命士講習会について: Tj

3月11日ミサ後、市民救命救急講習会・・・AEDを使つての救命講習会を開催する。救急車が来るまでにどういう対処をしなければならないかという講習です。知っていてもなかなか出来ることでないので訓練を受けていただきたい。最初ビデオで20分間鑑賞。その後グループに分かれ訓練する。参加者氏名を消防署に提出する。訓練参加の証が来る。コースは約2時間かかる。来週から皆様にも呼びかける。

## 審議事項 I

### 1. 議長辞任申し出に伴う後任人事

谷口議長から評議会議長辞任の申出であった。家庭の事情で去年は動けず、今年も難しい状況。これ以上皆様にご迷惑を掛けられないので退任させて頂きたい。後任を滝川副議長にお願いしたい。

皆様にはご迷惑をおかけし、誠に申し訳ありませんでした。あとよろしく願いいたします。

司祭: 教会のことよりご家庭のことを優先、大事にしてください。

滝川: このような状況なので議長を引受けます。

本来の任期である来年3月までなら引受けます。

皆様のご協力を得ながらやっていきたいと思います。それに伴い議長はチーム長を兼任できないという規定がある。私は今施設管理チーム長を兼務しているが、その後任として残り一年間黒田

副議長にお願いしたい。副議長が一人減るが、補充はしないで、副議長の仕事として人手が必要な時には前副議長の Hs さん、Td さんのご協力を仰ぎながらこれから一年間やっていきたい。

上記議案につき、評議会(全評議員)承認、担当司祭承認。

本日付けで谷口議長退任、黒田副議長施設管理チーム長兼務、滝川氏議長就任決定。

## 2. 審議事項Ⅱ

- 2月18日 16:30 から聖堂で諏訪司教を囲んでお祈りの集い。

17:00 から懇親会。神戸中央の F 議長、六甲教会の H 議長を招待している。

準備は3時開始。参加者 77 名予定。お祈りと歌: 「主は水辺に立った」。

- 2月19日 ミサに住吉侍者 3 名。共同祈願は Uj さん、奉納は Kb さん、答唱は Im さん。

11:15 のミサはバイリンガル(日本語、英語)ミサ。

- 連絡網について、新しい連絡網で連絡を開始した。D 地区は FAX で回ったが、4 回目になると読みにくい。連絡の仕方を考える。メールも考える。この度は文章が長すぎて内容が正確に伝わりにくい恐れが出てくる。Km さんを中心にもう一度考える。

## 3. 審議事項Ⅲ

Tg: 聖パウロ三木列聖 150 周年(2012 年)の取り組みについて

1 月は最終日曜日に赤波江神父様が 26 殉教者についてお話してくださいました。

2 月はこの前の日曜日にこの教会始まって以来の殉教劇をしました。

パーティーもおぜんざいやほかのものもあってよかったと思います。

3 月は 25 日にフランシスコの家のルカ神父様をお迎えして黙想会。

3 月までは行事決まっている。そのあとは 4 月 5 月で巡礼とかをやっていきたい。

巡礼はバスで行った方が沢山の方々が参加して下さるのではないかとおもいます。

司祭: 希望していらっしゃる方も多し、住吉では長らく行っていないので、進めてはどうか。

Kd: 今後、溝部司教様、川邨神父様の話を聞く。26 聖人記念館長のデ・ルカ・レンゾ神父様にも一度住吉に来て頂きたいと考えています。皆様の同意があれば、一度打診したい。承認

司祭: 今年は確かに列聖 150 年に当たりますが 2015 年までの行事として、長いスパンで 4 年計画で考える。バス旅行はみんなが参加できるように前向きに考える。提案を出し考えていく事が大切。外で行われている関連行事を積極的にキャッチして、皆様にお知らせして、関心のある方々参加していただく。

#### 4. その他

司祭: 今日ミサでシリロ神父様をご自分でおっしゃいましたように、人事異動がありました。

シリロ神父様は帰国することになりました。寂しくて残念なことです、ご本人が前から 75 歳になったら帰りたいとおっしゃっていました。私たちは悲しむのではなく、喜んで見送りたいとおもいます。従って神戸中央と住吉は私とコンサルタ神父様共同司牧、オマリー神父様は今までどおり、協力司祭としてお願いできます。今まで私が主に住吉を、シリロ神父様が中央を見ていてくださったのですが、これからは私の負担も増えます。住吉教会は従来どおりやっつけてくださって結構です。ミサの時間などの変更はあるかもしれませんが、基本的に従来どおり活動してください。評議会は今まで日曜日のミサのあととしていますが、日曜日のミサの後には司祭にとって貴重な時間で普段余り話さない方々や、久しぶりに会った方々とのコミュニケーションの時間としてとっておきたい。例えば 4 月から評議会を土曜日にするということを考えたい。提案の段階ですが評議会を土曜日の午後にして頂くと動きやすい。

そのほか、神戸地区で新たに来られた神父様方を紹介すると神戸西ブロックに春名神父様、西ブロックは明石、垂水、洲本です。北ブロックにはマシエル神父様が来られる。ベロー神父様もいよいよ帰国なさいます。1949 年に来られ 63 年神戸地区のために働いてくださいました。別れを悲しむのではなくこれから元気で居てくださいという思いで見送りたいと思います。

3 月 20 日春分の日、召命の日にトゥアン神学生が助祭、司祭候補者認定式を受けられます。通常認定式を受けて正式神学生になりますが、トゥアンさんはベトナムで神学の勉強を終えられています。通常のコースならこの認定式を受けて一年後朗読奉仕者祭壇奉仕者そして助祭になるのですが、トゥアンさんの場合は短縮して、近いうちに叙階を受けるのではないかとおもいます。

スペイン語のミサはどうなりますか。⇒ 一応今までどおりで。

例年のことですが 2 月末からボランティアに行きますので 2 月 28 日から 3 月 13 日まで不在になります。日曜日 2 回不在になりますが、シリロ神父様、コンサルタ神父様、オマリー神父様がミサをしてくださいます。

3 月 11 日残念ながらありませんが、教区から公式な祈願、特別な祈願がきています。

典礼の方にお渡しします。

評議会の開催日をどうするか。⇒ 第 2 の土曜日。差支えの時は第 4 土曜日。2 時から。

シリロ神父様の送別会 神父様と相談して別途検討する。

● 各チーム長報告

Kd: 鈴蘭台の T 議長からベロー師は 6 月 4 日関空から発たれる。送別会を一緒にやるかどうか問合わせが来ているので報告します。住吉の方針を決定し回答の必要あり。

Tg: 私としては一度住吉に来ていただきたいと思います。

初代の幼稚園園長でもありますし、なんとか来てもらえないものか。

Kd: 旧聖堂お別れミサの短いビデオ編集を Kw 氏に依頼中です。鈴蘭台での映写も検討。

Kw: お別れ会が出来るならそのビデオも撮って編集すればいい。

松谷園長: 幼稚園二階のホール前と西階段に屋根をつける工事を春休み中にする。

ブランコとトイレの前を掘削する。なにか迷惑不具合があればお知らせ下さい。

職員は誰かいます。

Hb: 今日、中高生が中央教会でいちご大福を作っています。

Ng: 日程の所に金曜日の十字架の道行き、灰の水曜日の次の金曜日 24 日から朝 9 時から十字架の道行きが入ります。最後 4 月 6 日の金曜日は聖金曜日なので午後 6 時からです。

Tn さんが皆さんへのお知らせを作ってくださいていますので確認です。

2 月 22 日(水) 灰の水曜日 19:00

3 月 25 日(日) 黙想会 指導はルカ・ホルスティンク神父様(フランシスコ会)

4 月 1 日(日) 受難の主日・枝の主日

4 月 4 日(水) 11 時 聖香油ミサ カテドラル

シリロ神父様金祝のお祝い

4 月 5 日(木) 聖木曜日 19:00

4 月 6 日(金) 聖金曜日 19:00

4 月 7 日(土) 聖土曜日 19:00

4 月 8 日(日) 復活祭 9:30

Kd: 3 月 25 日(日)ルカ神父様の黙想会にフランシスコ修道院のブラザー佐藤に出席願い、ミサの中で歌を歌って頂くことを依頼したい。承認。

Ng: ①18 日教会学校から高槻教会へ遠足に行きます。高槻教会は 26 聖人が保護の聖人ということで、勉強をかねていきます。

②片柳神父様から福島の子供たちを招待して 8 月 3、4、5 日の 2 泊 3 日で合同キャンプの話があります。私達は信者の子供達が多くないので、信者の子供には声をかけ、参加を呼びかける。

③教会学校キャンプは夏休みが始まり次第、一泊二日で実施の予定。

- ・ 18 日の高槻への遠足には神父様は行かれないが、トゥアンさんが同行してくれる。
- ・ 福島の合同キャンプは神戸地区青年チームで費用の分担をどうするか検討中。
- ・ 司祭の集まりでもカリタスに協力依頼の話が出ている。

Kr: ゴミの問題。今は滝川氏に全部処理頂いている。全員で考える必要有りと思う。

- ・ 事業用ゴミの収集は火、金で教会は事業用ゴミだけ頼んでいる。

Tk: シリロ神父様に DVD を作って渡せればいいのか。

お別れ会のものも入れてシリロ神父様用に作る。

Kd: ・パウロ三木ホールガラス戸の1対の観音開き工事の検討を進める。

- ・ 祈念堂の今後の方針は案を作成し相談。基本的に教区墓地の購入を検討する。
- ・ 香部屋の洋服棚設置は復活祭までに完成したい。
- ・ 4月以降の26聖人記念行事は行事委員の皆様と相談しながら進めたい。

Kj: 1月22日に炊き出しにご協力いただいている方々と懇親会をもちました。

10人くらい来ていただきました。そのときに出たことなのですが、4月8日が復活祭で住吉担当の炊き出しが前日の4月7日に当たっているのでイースターエッグをおじさんたちに配ったらどうかというお話がありました。4月1日に玉子をおじさんたちのために集めたい。大体150個集めたいので4月1日から5日までに受け付けて当日の7日の朝に早く来て湯がいて小野浜にもっていく。玉子は持って来れない方のために卵の募金をしましょうということが決まりました。

Ym: 先ほどの祈念堂の話は、基本的に住吉で墓地を持つべきかもつべきでないか、祈念堂委員会の中で意見の調整が必要である。

Kd: 神戸地区で納骨堂保有教会はたかとりと住吉との事。検討結論を評議会に上げる。

## 終わりの祈り

司祭: 昨日は2月11日ルルドのマリア様ご出現の日で、世界病者の日でした。私たちも心を合わせて、身近にも病床にある方がいらっしゃいます。その方々と心を一つにして、これからの歩みを聖母マリアが導いてくださいますように。アヴェマリアの祈り。

## 2012年 日本26聖人列聖150年記念行事(1月~3月) 短信

1. 1月29日(日) 主日ミサで赤波江神父様から、日本26聖人の信仰について、私たちの信仰刷新 についてお話がありました。
2. 1月29日(日) 14:30 京都河原町教会 殉教劇(フランシスコ会)  
15:00 日本26聖人殉教記念顕彰ミサ 大塚司教司式
3. 2月5日(日) 9:30 日本26聖人列聖150年祈念ミサ 聖劇 住吉教会
4. 2月5日(日) 13:00~ ユスト高山右近列福祈願ミサ 池長大司教司式 大阪カテドラル
5. 2月11日(土・祝) 10:00 巡礼 高槻教会⇒香里教会⇒門真教会 感謝ミサ ルカ神父司式
6. 2月25日(土) 14:00 講演会「殉教と現代との対話」京都河原町教会内ヴァリオンホール  
デ・ルカ・レンゾ神父 日本26聖人記念館館長